

総務企画 委員会

調査項目

- 所管事務調査（管内視察）
- 政策課題調査項目を決定（活動方針）

◆ 総務企画委員会調査

臨時会において、各常任委員会も新体制になり、委員会の所管する事項の確認や、前年度から引き継いだ事項から、今年度の活動方針を決定しました。

5月18日 総務企画委員会の所管する事項について調査するため、管内（市内）における現地調査を行いました。

【高山市消防署白川出張所】
白川村から受託管理している消防署白川出張所は、11名の隊員が消防活動に取り組みられています。特にこの地は東海北陸自動車道や、白山スーパー林道などがあり、幅広い救急救助活動の中、住民の安全確保に取り組みました。

【地域おこし協力員】

清見地区地域おこし協力員の太田涼介さん（24歳）を訪ね、活動内容を伺いました。彼は、「おっぴら夢組合」と協働し、地域おこし活動に積極的に取り組まれることにより、地区の皆さんに親しまれ、地域の大きな力となつていきます。愛知県犬山市出身の彼は都会から訪れる人が、清見地区の魅力を感じ、楽しんでいただけるよう任期満了まで頑張るという意気込みでおみえになり、大変力強く感じました。



清見地区地域おこし協力員との懇談

【飛騨高山ビッグアリーナ】

平成12年に開館した本施設も老朽化しており、今年開催の清流国体もあることから床を改修されました。また、アリーナ全体における利用状況なども伺い、活発な利用の確認をしました。



床の修繕が終わった飛騨高山ビッグアリーナ（メインアリーナ）

【高山市消防本部】



高山市消防本部の通信指令室

今年度の重点調査項目

昨年度において、総務企画委員会では「公共交通体系について」調査研究を重ね、市に対し政策提言をしたところであり、平成27年2月には、合併特例期間が終了し、地域審議会などもなくなる状況の中で、これからの地域づくりをどのようにしていくのか。また、地域審議会に代わる組織が必要かどうかなど十分検討する中で自らの地域を自らで考え、作り上げていく「市民協働のまちづくり」が重要な課題であると考えています。

その状況を踏まえ総務企画委員会としましては、

- ① 地域自治の確立について
- ② 地域力の向上について

の2点を本年度の政策課題として、調査研究をいたします。

また、「公共交通体系について」「情報通信網の整備について」「職員数と職員給与の関係について」「各事業仕分について」など引き続き検討してまいります。

高山市の消防署の緊急情報通信指令システムは、多くの活動状況を視察し、多くの救急救助活動と迅速かつ的確な初

動体制の確立に懸命に努力されていることを確認してきました。